

直近の米の需給状況をお知らせします！

- 令和5年産の相対取引価格（令和6年3月時点の出回りからの年産平均）は、「まっしぐら」で15,165円/60kg、「つがるロマン」で15,410円/60kg。
- 全国の民間在庫量（令和6年3月末）は、過去5年間で最低水準。

詳しくはこちら
(農林水産省HP)



⇒ 相対取引価格及び民間在庫量は、共に回復基調にあるものの、
急速に主食用米に回帰すると、再び米価下落が起こるおそれがあります。

【参考：水田活用の直接支払交付金の単価表】

※主な作物を抜粋

交付対象作物 (水田)	農業者等への交付単価 (10 aあたり)
小麦	35,000円 ~ 46,000円
大豆	35,000円 ~ 58,000円
加工用米	20,000円 ~ 30,000円
飼料用米	55,000円 ~ 121,000円
新市場開拓用米 (輸出用米等)	20,000円 ~ 48,000円

◆国の予算配分や取組む技術メニュー等に応じて、
交付単価が変動します。

その他の対象作物等、詳細についてはお問い合わせください。

国の需給見通しでは、
令和6年度も5年度と同程度
の作付転換（**作付転換実績の維持**）
が必要とされています



米の取引価格は回復しているけど、
作りすぎると値崩れするかも
しれないのか…
じゃあ何を作るか考えないとなあ

**令和6年産の営農計画作成に当たっては、
どの作物を作付けすればよいか、
集出荷事業者等とよく相談しましょう！**